

民児協 ぬくもり

No.15

【発行日】
令和3年2月18日

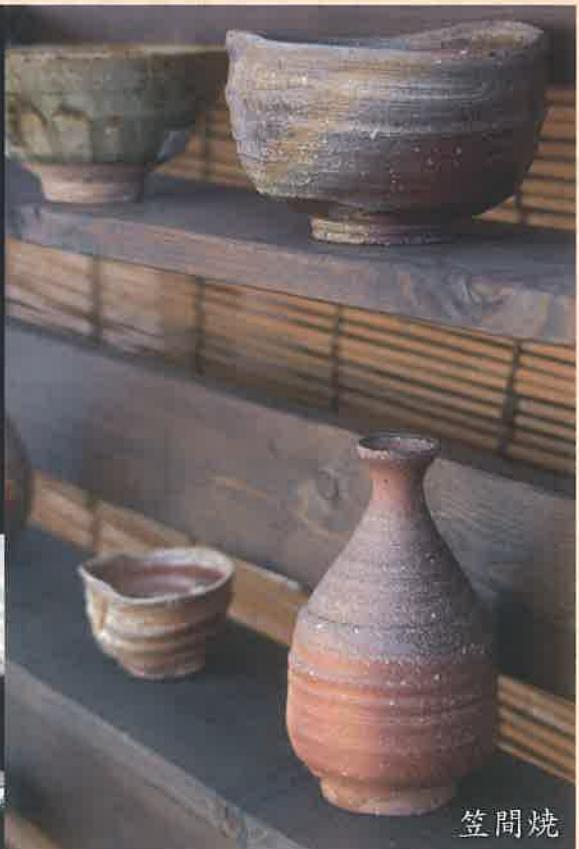
【発行】
笠間市連合民生委員
児童委員協議会

【編集】
広報委員会

民児協とは、民生委員・児童委員協議会の略称です。



笠間焼



笠間焼

日本遺産

令和2年6月認定

スローガン

支えあう 住みよい社会 地域から



ごあいさつ
笠間市連合民児会
会長 常井

昨年は、桜前線と同時に「新型コロナウイルス」の大流行に直面し、全世界の人々が大変な苦労と不自由を強いられました。中でも医療及び介護関係の方々には心身共にご苦労なさつていてると推察いたします。

ソーシャルディスタンスなど不自由な形ながらも「新しい生活様式」として活動を続けております。完全に元には戻らないまでも徐々に従来の訪問活動に戻ればと思います。また、委員同士の研修等も多人数での実施ができませんが、形を考えながら実施しうる身近な相談相手として、福祉サービスのつなぎ役となり、福祉の向上に努めてまいります。

コロナ禍の今

春先に、新型コロナウイルスの感染が始まり盛夏の今も続いています。外出自粛に伴い、定例会、研修会も中止となり、会員同志の交流も少なくなっています。6年経った今でも、不安を感じます。新しく委員となつた方はなおさらだと思います。

梅雨の長雨、その後の猛暑、コロナと熱中症、両方の対策が必要です。特に高齢者や子どもには周囲が気を配ることが大切です。感染防止のため『3密』を避け人との距離をとり、マスクを着用しての訪問活動、以前のようにはできません。民生委員としての活動にも支障をきたしています。

地域においても、さまざまなイベ

ントが中止となりました。不要不急の外出は控え「ステイホーム」を心がけての生活が長期化しているのが現状です。人との交流が減ることで体力、気力の減退が心配されます。

普段どちがう夏、高齢者が孤立しないために、訪問・見守りをしながら、どんな対応ができるか、模索が続く日々です。

一日も早く、コロナが終息して、普通の日常に戻れることを願っています。

足と自転車を使って

製作者
提 德郎氏

新型コロナの 影響による活動

昨年12月に一斉改選があり、新任委員の皆さんとの新しい体制の中、委員活動である「住民と行政とのパ・イプ役」についての勉強会を計画していましたさなかに、新型コロナウイルスが流行し、定例会・セミナーが延期や中止になり、新任の方々は活動内容について不明な事も有ったと思います。そんな時期に安否確認調査が始まり、先輩委員さんに相談しながらの活動となつた事と思います。訪問時には、3密とならないように注意しマスクをかけての対応です。

日頃の
衛生委員・児童

委員の活動から

あなたの

そばで…

皆さんの協力で

さんは、「淋しかったなー」と話しがつきません。帰り際にありがとうございました。言葉がありました。訪問して顔を合わせる事の大切さをしみじみ感じました。コロナ禍での予防対策をして、ひとり暮らしの方々が孤独にならないよう訪問したいと思いました。

最後に地域の皆様に協力を得ながら、常にアンテナを高くして安否確認をして行きたいと思います。

も行かず容態が悪化するばかりで困っている。」と相談がありました。早速その本人に面会に行くと、客の定「大丈夫、大丈夫何ともない。」と話を聞いてくれません。何とか説得しようとあの手この手と話をするが、なかなか聞き入れてくれず、家族の人とも相談するが、本人の意思が固く困ってしまいました。

民生委員・児童委員の皆様方には、日頃から社会福祉の増進にご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

るみで社会全体を守り高めていくことが大切な時代の中、地域と福祉行政のつなぎ役となる民生委員・児童委員の皆様の役割は、一層重要なものとなつて

笠間市長 山口 伸樹

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活は大きな変化を余儀なくされました。今や皆様の生活に欠かせないものとなっているマスクの着用やソーシャルディスタンスの確保など、誰もが初めて経験する事態になりましたが、感染防止のため引き続き取組んでまいりましょう。

また近年は、子どもへの虐待、社会的孤立や貧困など地域福祉の課題は複雑多様化しており、地域ぐ

今後も関係団体との一層の連携を図り、地域福祉の向上に努めてまいります。委員の皆様には、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

最後に、笠間市民生委員・児童委員協議会のますますの発展と、委員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ挨拶をいたします。

笠間市こども育成支援センターを開設

センターでは、成長や発達が気になるお子さんに対して、0歳から18歳までのライフステージに応じた、きめ細かい切れ目ない支援を行っていきます

TEL 0296-73-4711
TEL 0296-73-4721
笠間市美原三丁目2-11
相談専用ダイヤル



笠間市こども育成支援センター

- 支援コーディネート
- 相談支援
- 育成支援
- 教育支援



まずは電話で気持ちを伝えて

笠間市連合民児協
主任児童委員長 塩田 勝二

民生委員は、活動中知り得た情報について、委員退任後も引き続き守秘義務が課する。相談した方の秘密は守られます。児童委員も兼ねてお困った事があるときは、お住まいの地域の民生委員へお気軽にご相談ください。主任児童委員は、児童福祉に関する機関と児童委員との連携・調整・協力をし、つなぎを果たします。私も民生委員・児童委員を経て、今年度は主任児童委員となり、少しでも皆さんの方になれるよう日々勉強を続けております。先日もこども育成支援センターや市の保健福祉部、教育部に伺い、特に気になつてました。不登校児童の対応についても教えていただきました。関係者の皆様、ご教示お力添えを頂き感謝いたしました。

今日を生きている者同士じゃないですか、できる時に、できる分だけ、できる事をちゃんとしよう。

児童虐待の現状と対応について

7月30日、子ども福祉課の担当者を講師に、笠間市児童福祉について研修しました。

はじめに、児童支援グループ主査の柴山様より笠間市の児童虐待の現状と対応のポイントをお話いただきました。日々の活動が早期発見につながるということでした。



生活保護関係委員会の研修

くらしの生活安全のために

9月30日に社会福祉課の担当者を招き研修会を開きました。

生活保護制度について詳しく述べて詳しく話していました。制度の趣旨、相談・申請窓口、保護の要件、支給の保護費、生活扶助や医療扶助など保護の種類、手続きの流れと年々虐待の数が多くなっていることに驚きました。次に、家庭児童相談員の鈴木様に具体的な対応事例をお話しいただき、社会の変化により地域や家庭内で子どもを取り巻く環境に不安を感じて相談室を訪れる方もあり、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを進める必要があるといふことでした。

「あれ?」「もしかして?」と思つたら、ためらわずに**189**（いちはやく）に相談しましょう。

委員会

事項別委員会の研修や活動を紹介

新型コロナ感染拡大防止のため、地区別開催となり、岩間地区では、11月9日笠間市保健センターより保健師を招き、「精神障害の理解と関わり方について」の議題により研修会を開きました。

「精神障害」は、通常「こころの病気」といわれ、だれもがかかる可能性があります。主な病気としては、うつ病、統合失調症、强迫性障害、摂食障害、時には、各種の出来事や要因がストレスとなり、ひきこもり等の症状もあります。

ひきこもりは把握困難で増加傾向にあります。私達は当事者のおかれてある状況を温かみのある対応で接し、地域の支援者として、気づく、傾聴する、つなぐ、見守る事の重要性を再認識して、より一層地域内での今後の活動に活かしていきたいと思います。



精神障害の理解と関わり方

精神障害の理解と関わり方

新型コロナ感染拡大防止のため、地区別開催となり、岩間地区では、11月9日笠間市保健センターより保健師を招き、「精神障害の理解と関わり方について」の議題により研修会を開きました。

「精神障害」は、通常「こころの病気」といわれ、だれもがかかる可能性があります。主な病気としては、うつ病、統合失調症、强迫性障害、摂食障害、時には、各種の出来事や要因がストレスとなり、ひきこもり等の症状もあります。

ひきこもりは把握困難で増加傾向にあります。私達は当事者のおかれてある状況を温かみのある対応で接し、地域の支援者として、気づく、傾聴する、つなぐ、見守る事の重要性を再認識して、より一層地域内での今後の活動に活かしていきたいと思います。

ハンセン病になった人々に、人権を無視した行動などの過ちを一度とおこしてはなりません。「感染症」新型コロナウイルスも今まで道半ばでもあります。

※コロナ禍により研修が実施できなかつたため、昨年の研修内容の報告です。



精神障害の理解と関わり方

感染症とハンセン病

感染症の長い歴史の中でハンセン病は、最も感染力の弱い感染病でありながら、戦前の法律「らい予防法」で偏見や差別を助長しました。「栗生温泉園」への研修に参加し、その中で重監房資料館や監獄を復元した建物は、暗く重く、証言した方々の言葉々々な地獄が、心と体に重くのしかかり、恐ろしい事が「こわい」ではなく「知つておくべき事」だと思いました。強制隔離の必要もなく、あり、現在にも通じる事だと思いました。

ハンセン病になつた人々に、人権を無視した行動などの過ちを一度とおこしてはなりません。「感染症」新型コロナウイルスも今まで道半ばでもあります。

※コロナ禍により研修が実施できなかつたため、昨年の研修内容の報告です。

友部地区 民生委員・児童委員担当地区一覧表

(氏名・電話番号・担当地域の順)

令和元年12月1日現在

★主に宍戸小学校区

1 小菅 栄子	77-3400	上町、中町、下町、星山
2 大根 法子	77-7704	橋爪、下加賀田、矢野下上郷
3 武田 富雄	77-2852	南小泉1・2・3
4 横倉 一男	77-3775	大古山、ひばりヶ丘団地、ベリオコリナ会
5 米川 容子	77-5494	旧陣屋1・2、小人町
6 青野 民男	77-3282	旧陣屋3
7 仲野よし子	77-6982	大田町1
8 藤木喜代子	77-2671	大田町2、八反山
9 磯部佐智恵	77-7801	松山団地1・2
10 芥川 麗子	78-0615	松山団地3、県営松山アパート、松山南団地
11 岩田 幸雄	77-6285	八幡下、八幡台第2

★主に友部小学校区

1 深谷 邦子	77-0002	原店1・2
2 深澤 洋子	77-2014	宿1・2、久保、古山
3 瀧本 一	77-6461	宮前1・2
4 内桶 正夫	77-6439	鴻巣1
5 青木とみ子	77-7677	鴻巣2、県営友部アパート、鴻巣団地
6 友部 庄一	77-0028	東町1・2、仲町
7 伊橋 理代	77-2473	東町3・4
8 福田 紀子	77-5790	西町1・2、南町
9 高野 康司	77-7107	桜町、栄町
10 多川英久雄	77-5651	幸町、大沢中1・2
11 長谷川悦子	77-2172	当の越1・2
12 荒張 晴夫	77-6809	緑町1・2・3
13 高田 真弓	77-8207	大沢中3、美原団地
14 井坂フヂエ	77-0572	青葉町
15 武藤 千秋	77-7943	柿橋西・中
16 海老澤淳子	77-9015	柿橋東・南
17 山中 福一	77-9680	柿橋北
18 中山 務	77-1882	柿橋団地、東ヶ丘
19 川原井幸江	78-0323	西飯田
20 藤枝 和也	78-0795	内郷、西内郷、飯田1・2・3
21 生天目純子	77-8682	富士町

★主に友部第二小学校区

1 大和田 勉	77-5578	矢野下藤株・下郷、若狭山団地、清住町
2 園部 敏子	78-2517	八幡台第1
3 川井 一郎	77-6699	大沢下1
4 菊池美智子	77-4460	大沢下2
5 寺門 常康	73-4113	旭台、アクシーズタワー旭台
6 阿部 幸雄	77-3789	旭崎1・2、原団地
7 田中 敬一	77-5587	大沢上1・2
8 成田 恵子	77-7962	大沢上3
9 阿久津英治	77-6826	旭台団地1・2・3・4
10 大垣 茂	77-4534	旭平1、サンステージ
11 斎藤 清	77-1214	旭平2、旭平団地、緑ヶ丘団地

★主に北川根小学校区

1 横木 守	77-3951	旭丘団地、住吉団地、みどり野団地
2 布施谷智恵美	77-2827	旭団地、西協、長野、RG風の杜、グリーンウッド
3 光又 宏子	77-9373	睦団地、西原、西原住宅班、コンフォートタウン西原
4 打越 安洋	78-0159	石沢、長兎路全区
5 鈴木 倫孝	77-0459	住吉本宿、白百合
6 上野 憲一	77-4370	住吉新宿、湯崎、田向
7 枝川 良雄	78-0948	随分附本郷・新田、東原
8 箱田 素子	77-4573	柏井、柏井団地、旭丘、仁吉田全区、南丘団地

★主に大原小学校区

1 大澤 守生	77-3528	下市原、中市原
2 中庭 栄一	77-3290	上市原1・2
3 友部 順子	77-2794	滝川1・2
4 長谷川道夫	77-2519	香取、久保下寺、新宿、小原団地
5 高安 勝惠	77-3335	館古宿、本内、原坪、筒塙

★主任児童委員

1 飯田 君枝	77-9203	友部地区全域
2 山口 正俊	77-6060	
3 市毛 正明	77-8590	

〔歌〕短歌

押入れに しまわれおりし古ミシン
日の目を見たり マスク縫うため
電波にて 動く時計の確かさに
暮しゆだねむ 残生の日々

夫亡き後を 聞と生きねば
笠間 太田 峯子
岩間 深谷 充代

今日よりも 良き明日信じ田に畑に

「うちの息子が遠藤君に虐められる」との言葉あり。慌てて学校へ、先生は笑いながら「遠藤君がさんざん言われたことを言つたまで悪気はない、お母さん心配しないでいいですよ」皆さんどんな言葉だと思つたが、それは「田舎っぺ」と仙台から転校して来た彼に言つたんです。本人は歓迎の言葉と思つたらしい。その他諸々暖かく見守つて下さった先生に感謝しています。

17年間の東京生活に別れを告げ、友部に着いたとたん、私も田舎っぺ

17年間の東京生活に別れを告げ、友部に着いたとたん、私も田